

歯科医療の展開

年次	学期	学則科目責任者
5年次	前学期	5年次学年教育主任

学修目標 (GIO) と 単位数	・学修目標 (GIO) : 臨床実習を効果的に学修するために、臨床科目に関する基礎学力向上と診療参加型臨床実習に対する解決能力を養い、併せて各診療科における診療の流れと使用する器材・薬剤に関する基礎的知識を修得する。 ・単位数 : 4 単位																		
講義実施要項	期 間 : 平成 29 年 4 月 1 日 ~ 9 月 30 日 時 間 : 午前 8 時 40 分 ~ 9 時 30 分 (試験時間は別に記載する) 講 義 : 以下のテーマより 8 つのユニットから構成される。 <table border="0"> <tr> <td>ユニット 1 : 診断情報収集と診療の流れ</td><td>オーガナイザー : 多田 充裕</td></tr> <tr> <td>ユニット 2 : 先端歯科医学</td><td>オーガナイザー : 村上 洋</td></tr> <tr> <td>ユニット 3 : 成長・発育</td><td>オーガナイザー : 岡本 京</td></tr> <tr> <td>ユニット 4 : 加齢と歯の欠損</td><td>オーガナイザー : 飯島 守雄</td></tr> <tr> <td>ユニット 5 : 齲蝕と硬組織欠損</td><td>オーガナイザー : 岩井 啓寿</td></tr> <tr> <td>ユニット 6 : 炎症</td><td>オーガナイザー : 高井 英樹</td></tr> <tr> <td>ユニット 7 : 嚢胞・腫瘍</td><td>オーガナイザー : 山本 泰</td></tr> <tr> <td>ユニット 8 : 保健医療総論と健康管理</td><td>オーガナイザー : 有川 量崇</td></tr> </table> 講義内容 : ユニット 1 : 臨床実習開始に当たり患者情報の収集と各種検査法、各診療科における診療の流れおよび使用する器材・薬剤について講義する。 ユニット 2 : 先端歯科医学として口腔インプラント学、再生歯科治療学、顎口腔機能治療学における治療の内容と手技について講義を行う。合わせて、チェアサイドで必要な基本的な英会話の講義を行う。 ユニット 3 ~ 7 : 各ユニットはテーマに基づいて①正常構造と機能→②病因、病態→③診察、検査法→④治療法を学び、さらに臨床における主訴・症状・徴候から適切な診断と処置方針の立案について講義を行う。 ユニット 8 : 国家試験出題基準における歯科医学総論、(I) 保健医療総論と (II) 健康管理・増進と予防についての講義を行う。	ユニット 1 : 診断情報収集と診療の流れ	オーガナイザー : 多田 充裕	ユニット 2 : 先端歯科医学	オーガナイザー : 村上 洋	ユニット 3 : 成長・発育	オーガナイザー : 岡本 京	ユニット 4 : 加齢と歯の欠損	オーガナイザー : 飯島 守雄	ユニット 5 : 齲蝕と硬組織欠損	オーガナイザー : 岩井 啓寿	ユニット 6 : 炎症	オーガナイザー : 高井 英樹	ユニット 7 : 嚢胞・腫瘍	オーガナイザー : 山本 泰	ユニット 8 : 保健医療総論と健康管理	オーガナイザー : 有川 量崇		
ユニット 1 : 診断情報収集と診療の流れ	オーガナイザー : 多田 充裕																		
ユニット 2 : 先端歯科医学	オーガナイザー : 村上 洋																		
ユニット 3 : 成長・発育	オーガナイザー : 岡本 京																		
ユニット 4 : 加齢と歯の欠損	オーガナイザー : 飯島 守雄																		
ユニット 5 : 齲蝕と硬組織欠損	オーガナイザー : 岩井 啓寿																		
ユニット 6 : 炎症	オーガナイザー : 高井 英樹																		
ユニット 7 : 嚢胞・腫瘍	オーガナイザー : 山本 泰																		
ユニット 8 : 保健医療総論と健康管理	オーガナイザー : 有川 量崇																		
評価方法 (EV)	平常試験の評価割合を以下のようにする。 平常試験の日程は別に配布するシラバスに記載。 <table border="0"> <tr> <td>平常試験① : 診断情報収集と診療の流れ</td><td>5 %</td></tr> <tr> <td>平常試験② : 先端歯科医学</td><td>20 %</td></tr> <tr> <td>平常試験③ : 成長・発育</td><td>10 %</td></tr> <tr> <td>平常試験④ : 加齢と歯の欠損</td><td>10 %</td></tr> <tr> <td>平常試験⑤ : 齲蝕と硬組織欠損</td><td>10 %</td></tr> <tr> <td>平常試験⑥ : 炎症</td><td>10 %</td></tr> <tr> <td>平常試験⑦ : 嚢胞・腫瘍</td><td>10 %</td></tr> <tr> <td>平常試験⑧ : まとめ試験</td><td>15 %</td></tr> <tr> <td>平常試験⑨ : 基礎学力レベルアップ</td><td>10 %</td></tr> </table> 以上により、全正解率が 65 %以上の者を「歯科医療の展開」の合格者とする。 再試験について ①上記合格基準に満たない者については、再試験を実施する。なお、再試験の追試験は行わない。 ②実施日時 : 平成 29 年 10 月 6 日 (金) 17:40 ~ 18:40 (60 分) ③再試験は、ユニット 2 ~ 8 の講義内容に関する筆記試験問題とする。 ④再試験の正答率が 65 %以上の者を「歯科医療の展開」の合格者とする。 再評価試験不合格者は学修支援対象者とし、10 月以降に実施される補修講義等を受講しなければならない。	平常試験① : 診断情報収集と診療の流れ	5 %	平常試験② : 先端歯科医学	20 %	平常試験③ : 成長・発育	10 %	平常試験④ : 加齢と歯の欠損	10 %	平常試験⑤ : 齲蝕と硬組織欠損	10 %	平常試験⑥ : 炎症	10 %	平常試験⑦ : 嚢胞・腫瘍	10 %	平常試験⑧ : まとめ試験	15 %	平常試験⑨ : 基礎学力レベルアップ	10 %
平常試験① : 診断情報収集と診療の流れ	5 %																		
平常試験② : 先端歯科医学	20 %																		
平常試験③ : 成長・発育	10 %																		
平常試験④ : 加齢と歯の欠損	10 %																		
平常試験⑤ : 齲蝕と硬組織欠損	10 %																		
平常試験⑥ : 炎症	10 %																		
平常試験⑦ : 嚢胞・腫瘍	10 %																		
平常試験⑧ : まとめ試験	15 %																		
平常試験⑨ : 基礎学力レベルアップ	10 %																		

診断情報収集と診療の流れ

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	多田 充裕 (歯科総合診療学)

学修ユニット 学修目標 (GIO)	平成28年4月1日から施行された障害者差別解消法について、これまでの成立過程やその内容を理解する。
担当教員	伊藤 政之
評価方法 (EV)	平常試験にて評価する。
学生への メッセージ オフィスアワー	医療における合理的配慮を検討してみてください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/01 (土) 1時限 08:40～09:30	ガイダンス	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし 【学修方略（L S）】 その他 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室	小見山 道 清水 武彦
2017/04/03 (月) 1時限 08:40～09:30	POSに基づく問題 指向型診療録記載	【授業の一般目標】 患者が抱える健康に関する問題を解決するために、POSに基づく問題指向型診療録（POMR）の記載方法を修得する。 【行動目標（S B O s）】 1. 当院における診療システムについて説明できる。 2. POMRの意義について説明できる。 3. POMRの構成を説明できる。 4. POMRの記載方法を説明できる。 5. 問題の解決過程のステップを説明できる。 6. 実際のPOMRを記載できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療行動科学8におけるPOMR記載実習の内容を一度確認してから受講すること。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 4年次 医療行動科学8におけるPOMR記載実習の資料を持参すること。 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム - イ 歯科医師と患者・家族との関係 - a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン	内田 貴之
2017/04/04 (火) 1時限 08:40～09:30	臨床検査の基礎、 検査結果の読み方	【授業の一般目標】 全身状態を有する患者の歯科治療を安全に行うために、臨床検査の基礎、検査値および検査結果の読み方を理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 臨床検査の意義を述べられる。 2. 全身状態の診断に必要な検査項目と意義を述べられる。 3. 各臨床検査の基準値を知り、重要な異常値の意味を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 検査項目と基準値を事前に確認する。4年次で使用した臨床検査学のノートを見直し、授業時に持参すること。 準備学修時間40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 401教室、パワーポイント、プリント 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 - ウ 検体検査の種類 - b 血球検査、凝固・線溶、血液型・輸血関連検査、赤沈 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 - ウ 検体検査の種類 - c 生化学検査（糖質、糖、代謝関連物質、蛋白、含窒素成分、脂質代謝関連物質、電解質、酸塩基平衡、酵素、ホルモン） 歯科医学総論 総論IX 検査 3 検体検査 - イ 一般臨床検査 - ウ 血液学検査 - エ 生化学検査	湊上 真奈
2017/04/05 (水) 1時限 08:40～09:30	画像検査の基本	【授業の一般目標】 歯・顎顔面領域の画像検査を適切に行うために、各種画像検査法の利点、欠点および選択基準を学ぶ。 【行動目標（S B O s）】 1. 口内法エックス線検査を説明できる。 2. パノラマエックス線検査を説明できる。 3. CT検査の利点、欠点を説明する。	村松 輝晃

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/05 (水) 1時限 08:40～09:30	画像検査の基本	4. MRI検査の利点、欠点を説明する。 5. 画像検査の選択基準を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 各種画像検査法の利点、欠点および選択基準を事前に確認する。2・3年次で 使用した放射線学のノートを見直し、授業時に持参すること。 準備学修時間40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 401教室、パワーポイント、プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 11 検査の基本 オ 画像検査 a エックス線撮影（口内法、パノラマエックス線撮影、CT、歯科用コーン ビームCT、造影検査） 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法（CT）、磁気共鳴 撮像法（MRI）および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	村松 輝晃
2017/04/06 (木) 1時限 08:40～09:30	有床義歯補綴学の 治療ステップと必 要な器材	【授業の一般目標】 有床義歯治療時に必要な器材と治療介助ができるようになるために、治療の流 れと使用する器材について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 有床義歯製作時の治療ステップを説明できる。 2. 有床義歯製作のための印象採得時に必要な器材について説明できる。 3. 有床義歯製作のための咬合採得時に必要な器材について説明できる。 4. 義歯調整時に必要な器材について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 有床義歯製作時の治療ステップ、印象採得と咬合採得および義歯調整時に必要 な器材について、1時間程度の予習を必要とする。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、歯学生のパーシャルデンチャー、総義歯実習便覧、 局部床義歯補綴学実習書 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録 ス 装着 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得 エ 顎間関係の記録 サ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。	河相 安彦 石井 智浩
2017/04/07 (金) 1時限 08:40～09:30	歯冠補綴治療の流 れと使用する器具	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療時に必要な器具の準備と診療介助ができるようになるために、臨 床実習で行う歯冠補綴治療の流れと使用する器材を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 根管形成に使用する器材を説明できる。 2. 支台築造法の種類と使用する器材を説明できる。 3. 歯肉圧排の方法と使用する器材を説明できる。	後藤 治彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/07 (金) 1時限 08:40～09:30	歯冠補綴治療の流れと使用する器具	4. 支台歯形成に必要な器材を説明できる。 5. 精密印象、咬合採得に使用する器材を説明できる。 6. プロビジョナルレストレーションの製作法と必要な器材を説明できる。 7. クラウン・ブリッジの試適、調整、仮着に必要な器材を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学第5版。クラウンブリッジ補綴学実習指針 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学習媒体PC、配布プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成 エ 支台築造 オ プロビジョナルレストレーション カ 印象採得 ク 顎間関係の記録 ス 口腔内試適	後藤 治彦
2017/04/08 (土) 1時限 08:40～09:30	非歯原性口腔顔面痛に対する臨床診断推論	【授業の一般目標】 口腔顔面痛患者の診療プロセスを理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 口腔顔面痛の分類を説明できる。 2. 非歯原性口腔顔面痛を説明できる。 3. 口腔顔面痛患者の診療プロセスを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修の推奨 参考図書 日本口腔顔面痛学会編 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック第2版 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 1 診察総論 ウ 全身の診察 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 ④診察、検査、診断および治療に必要な器材を説明できる。【患者監視装置（モニタ）を含む。】	大久保 昌和
2017/04/10 (月) 1時限 08:40～09:30	修復治療の流れと使用する器材、薬剤	【授業の一般目標】 保存修復処置に用いる材料や器材を適切に取り扱えるようになるために、材料や器材の名称、使用方法、特徴について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 各種修復材料の名称、使用方法および特徴について説明できる。 2. 各種修復材料の使用上の注意点について理解する。 3. 切削器具の名称、使用方法および特徴について説明できる。 4. 修復前準備に用いる器具の名称、使用方法および特徴について理解する。 5. 修復前準備の注意点について理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：保存修復学（第6版）のp. 97～108、p. 139～221再読し予習を行う。 ・準備学修時間： 50 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し	大塚 一聖

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/10 (月) 1時限 08:40～09:30	修復治療の流れと使用する器材、薬剤	【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 イ エアータービン 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 ウ マイクロモータ 3 切削、研削、研磨 ア 切削・研削器具 8 歯冠修復用材料 ア レジン 1 3 歯科接着技術・機器 ア エナメル質被着面処理 イ 象牙質被着面処理 ウ セラミックス被着面処理 エ 金属被着面処理 1 4 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー イ グラスアイオノマーセメント 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	大塚 一聖
2017/04/11 (火) 1時限 08:40～09:30	根管治療の流れと使用する器材・薬剤	【授業の一般目標】 根管治療の技術を習得するために、根管治療の術式および使用する器具・薬剤について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 根管治療の術式について説明できる。 2. 根管治療に必要な器具について説明できる。 3. 根管治療に必要な薬剤について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の流れ、検査項目を事前に確認する。教科書および歯内療法学実習書を読んで確認すること。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイント、プリント 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 イ 歯髄検査 ウ 根尖歯周組織検査	岡部 達
2017/04/12 (水) 1時限 08:40～09:30	歯周治療の流れ（検査・S P T・歯周外科）と使用する器具	【授業の一般目標】 患者実習を行うために必要な歯周治療を実施するための知識を習得し、総合的に歯周治療の流れを理解する 【行動目標（S B O s）】 1. 歯周治療の流れについて理解する 2. 歯周基本治療の種類と目的を説明できる 3. 歯周病検査の項目とその目的を説明できる 4. 歯周基本治療で使用する器具を列挙できる 5. 歯周外科治療で使用する器具とその用途を説明できる 6. メインテナンスとSPTについて説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 歯周治療の流れ、歯周基本治療と歯周病検査項目を事前に確認する。3、4年次で使用した歯科保存学1、2実習書(歯周治療学実習書)を読んで確認するこ	中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/12 (水) 1時限 08:40～09:30	歯周治療の流れ (検査・SPT・ 歯周外科)と使用 する器具	と。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 401教室, パワーポイント, プリント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療	中山 洋平
2017/04/13 (木) 1時限 08:40～09:30	全身麻酔について	【授業の一般目標】 安全で快適な歯科治療を行うために全身麻酔の概要について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 全身麻酔の術前管理について述べるができる。 2. 全身麻酔の導入について説明できる。 3. 全身麻酔の維持について説明できる。 4. 全身麻酔からの覚醒について説明できる。 5. 術後管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 全身麻酔の導入・維持・覚醒に関して、その方法・使用薬剤・ 使用器具について確認しておく。 準備学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 コ 麻酔法 b 全身麻酔 (吸入麻酔法、静脈麻酔法) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 6 麻酔、緩和医療 ウ 全身麻酔法 エ 吸入麻酔薬、静脈麻酔薬 オ 筋弛緩薬とその拮抗薬 カ 麻酔補助薬 キ 術前管理と麻酔前投薬 ク 術中・術後管理とモニタリング 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-3) 歯科麻酔の基本 E-1-3)-(4) 全身麻酔法 *①全身麻酔の目的と種類ならびに特徴を説明できる。【前投薬、筋弛緩薬お よび主な全身麻酔薬の基本的薬理作用および使用機器・器具を含む。】 *②全身麻酔の適応と禁忌および合併症を説明できる。 *③全身麻酔時の周術期の管理を説明できる。	石橋 肇
2017/04/14 (金) 1時限 08:40～09:30	粘膜切開、剥離、 縫合、拔牙等の外 来手術の流れと使 用機材・薬剤につ いて。手指消毒、 術野の消毒につ いて。	【授業の一般目標】 口腔外科外来手術時に必要な器材の準備と治療介助ができるようになるために、 外来手術の流れと使用する器材・薬剤について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 手指と術野の消毒について説明できる。 2. 拔牙に必要な器具の用法と基本手技を説明できる。 3. 粘膜の切開、剥離に必要な器具の用法を説明できる。 4. 縫合と止血に必要な器具の用法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目: 手術前準備、外科基本手技、基本使用器具 準備学修時間: 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無し 学習媒体: 授業スライド 参考図書: 医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第 3版」	青木 暁宣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/14 (金) 1時限 08:40～09:30	粘膜切開、剥離、縫合、拔牙等の外来手術の流れと使用機材・薬剤について。手指消毒、術野の消毒について。	【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ス 拔牙 a 基本的術式	青木 暁宣
2017/04/15 (土) 1時限 08:40～09:30	小児歯科の特色と使用する特殊器具	【授業の一般目標】 小児への対応を適切に行うために、小児歯科の特色と使用する器具について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 年齢ごとの小児への対応を説明できる。 2. 小児歯科の器具について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：低年齢児の対応法 準備学修時間：1 時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、 学建書院「小児の口腔科学 第3版、第4版」 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 診察 2 小児への対応 イ 心理・社会的特徴	清水 邦彦
2017/04/19 (水) 1時限 08:40～09:30	障害者をとりまく環境	【授業の一般目標】 平成28年4月1日から施行された障害者差別解消法について、これまでの成立過程やその内容を理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 障害者権利条約についてその概要を説明することができる。 2. 障害者差別解消法についてその概要を説明することができる。 3. 合理的配慮を説明することができる。 4. バリアフリー・コンフリクトを説明することができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：厚生労働省のHPを閲覧し、「厚生労働省における障害を理由とする差別的解消の推進」の中の「医療関係事業者向けガイドライン」の内容を確認しておく。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングはありません。 配布プリント、パワーポイントにて講義を行います。 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *③保健・医療・福祉・介護の連携を理解し、歯科医師の役割を説明できる。 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境	伊藤 政之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/19 (水) 1時限 08:40～09:30	障害者を取りまく環境	B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-4) 障害者の歯科治療 ⑤障害者に対する基本的な対応ができる。	伊藤 政之
2017/04/24 (月) 1時限 08:40～10:10	平常試験①	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集など ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室	多田 充裕
2017/05/08 (月) 1時限 08:40～09:40	平常試験⑨-A	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室	清水 武彦
2017/06/05 (月) 1時限 08:40～09:30	チェアサイドの英会話	【授業の一般目標】 1. Endodontics & Operative Dentistry 2. Important Vocabulary 【行動目標（S B O s）】 1. 医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。 2. 国家試験の英語問題に対応できる。 3. 海外留学も視野にいた、医療英語を身につける。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業プリント配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 7 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語	パワー ル ウジャール
2017/06/06 (火) 1時限 08:40～09:30	チェアサイドの英会話	【授業の一般目標】 1. Prosthodontic Treatment 2. Important Vocabulary 【行動目標（S B O s）】 1. 医療英語、医療単語を理解し、話すことができる。 2. 国家試験の英語問題に対応できる。 3. 海外留学も視野にいた、医療英語を身につける。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：一年生の教科書を熟読する。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業プリント配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 7 一般教養的事項 ウ 歯科医療に必要な基本的医学英語	パワー ル ウジャール
2017/06/19 (月) 1時限 08:40～09:40	平常試験⑨-B	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（L S）】	清水 武彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/19 (月) 1時限 08:40～09:40	平常試験⑨-B	講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室	清水 武彦
2017/07/25 (火) 1時限 08:40～09:40	平常試験⑨-C	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室	清水 武彦
2017/08/26 (土) 1時限 08:40～09:40	平常試験⑨-D	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室	清水 武彦
2017/09/27 (水) 1時限 08:40～10:40	平常試験⑧	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室	清水 武彦

先端歯科医学

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	村上 洋（口腔インプラント学）

学修ユニット 学修目標 (G I O)	
担当教員	村上 洋
評価方法 (E V)	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/25 (火) 1時限 08:40～09:30	インプラント治療の歴史、材料と生体反応	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. インプラント治療の歴史を述べることができる。 2. インプラントシステムを説明できる。 3. インプラント材料にの生体反応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 16 歯周治療・口腔外科・インプラント材料 ア インプラント材料	村上 洋
2017/04/26 (水) 1時限 08:40～09:30	インプラントの特徴、周囲組織、生理学的特徴	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. インプラント周囲組織と歯周組織の構造の違いを説明する。 2. インプラントの生理学的特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 ウ インプラントの埋入の治療計画 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) デンタルインプラント *①デンタルインプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。 *②デンタルインプラントの基本構造を説明できる。	井下田 繁子
2017/04/27 (木) 1時限 08:40～09:30	インプラント治療の特徴、基本構造、成功基準	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. インプラントの利点・欠点について説明できる。 2. インプラント治療と従来の補綴治療と比較し説明できる。 3. インプラントの基本構造、構成要素について説明できる。	井下田 繁子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/27 (木) 1時限 08:40～09:30	インプラント治療 の特徴、基本構造、 成功基準	4. 1 回法と 2 回法の埋入術式の違いについて説明できる。 5. インプラント体とアバットメントの連結機能について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 ウ インプラントの埋入の治療計画 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) デンタルインプラント *①デンタルインプラントの種類、特徴、目的および意義を説明できる。 *②デンタルインプラントの基本構造を説明できる。	井下田 繁子
2017/05/02 (火) 1時限 08:40～09:30	適応症と禁忌症、 インプラント治療 の流れと使用器具	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（S B O s）】 1. インプラント治療の適応症について説明できる。 2. インプラント治療の禁忌症について説明できる。 3. インプラント治療に必要なインフォームドコンセントについて説明できる。 4. インプラント治療の初診からメンテナンスまでの一連の流れについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 ウ インプラントの埋入の治療計画 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) デンタルインプラント ③デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。 ④デンタルインプラントの適応症と合併症を説明できる。	井下田 繁子
2017/05/06 (土) 1時限 08:40～09:30	全身的风险ファ クターと全身の診 察・検査	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（S B O s）】 1. インプラント治療に必要な全身的风险ファクターについて説明できる。 2. インプラント治療に必要な全身の診察・検査・評価について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論	井下田 繁子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/06 (土) 1時限 08:40～09:30	全身的风险ファクターと全身の診察・検査	各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 ウ インプラントの埋入の治療計画 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) デンタルインプラント ③デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。	井下田 繁子
2017/05/10 (水) 1時限 08:40～09:30	局所リスクファクターと局所の診察・診査	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1.インプラント治療に必要な局所的検査を説明できる。 2.インプラント治療の局所リスクファクターを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標の範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 エ インフォームドコンセント	村上 洋
2017/05/11 (木) 1時限 08:40～09:30	診断と治療計画の立案・インフォームドコンセント	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1.インプラント治療における診断と治療計画の立案について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 エ インフォームドコンセント	村上 洋
2017/05/12 (金) 1時限 08:40～09:30	インプラントに必要な局所解剖	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1.インプラントに必要な局所解剖を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療	玉木 大之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/12 (金) 1時限 08:40～09:30	インプラントに必要な局所解剖	オ 外科処置	玉木 大之
2017/05/13 (土) 1時限 08:40～09:30	インプラント埋入手術	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. インプラント埋入手術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 オ 外科処置	玉木 大之
2017/05/15 (月) 1時限 08:40～09:30	インプラント関連手術	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. インプラント関連手術について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 オ 外科処置	玉木 大之
2017/05/17 (水) 1時限 08:40～09:30	術中および術後の偶発症・合併症	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 術中および術後の偶発症・合併症について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 サ 合併症	玉木 大之
2017/05/18 (木) 1時限 08:40～09:30	上部構造の種類と印象採得	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. インプラント治療の上部構造の種類について説明できる。	村上 洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/18 (木) 1時限 08:40～09:30	上部構造の種類と 印象採得	2. インプラント治療の印象採得法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 キ 補綴装置の印象採得	村上 洋
2017/05/19 (金) 1時限 08:40～09:30	アバットメントの 選択と上部構造の 装着	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（S B O s）】 1. インプラント治療のアバットメントと上部構造について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 ケ 補綴装置の製作	村上 洋
2017/05/20 (土) 1時限 08:40～09:30	メンテナンス	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（S B O s）】 1. メンテナンスの必要性を説明する。 2. メンテナンスの術式を説明する。 3. 支持療法の目的・方法を説明する。 4. 支持療法の重要性を説明する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 シ 患者指導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (3) デンタルインプラント ③デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。 ④デンタルインプラントの適応症と合併症を説明できる。	井下田 繁子
2017/05/22 (月) 1時限 08:40～09:30	メンテナンス中 のトラブル	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（S B O s）】	村上 洋

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/22 (月) 1時限 08:40～09:30	メンテナンス中のトラブル	1. 上部構造装着後のトラブルについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 サ 合併症	村上 洋
2017/05/23 (火) 1時限 08:40～09:30	超高齢化社会および医事紛争のへの対応	【授業の一般目標】 欠損補綴の回復法を適切に患者に提供するために、口腔インプラント治療に関する基本的知識を修得する。 【行動目標（S B O s）】 1. 高齢者に対するインプラント治療の優位性と問題点を説明できる。 2. 医事紛争を未然に防ぐ方法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：行動目標範囲の教科書の熟読 ・準備学修時間： 30 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 8 インプラント義歯による治療 シ 患者指導	村上 洋
2017/05/24 (水) 1時限 08:40～09:40	平常試験②- 1	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目： 講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等 ・準備学修時間： 十分な準備学修時間をとること 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室	村上 洋
2017/05/25 (木) 1時限 08:40～09:30	スポーツ歯学概論	【授業の一般目標】 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、最新のスポーツ歯科医学や睡眠健康科学の知識、態度、技能を習得する。 【行動目標（S B O s）】 1. スポーツと顎口腔機能の関わりについて説明できる 2. スポーツにおけるマウスガードの役割を説明できる. 3. スポーツにおける歯科的外傷と対応を説明できる. 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：スポーツ歯科とは 順部学習時間：約1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業プリント配布 参考図書：要説スポーツ歯学 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 5 その他の疾患の予防・管理 ク スポーツによる歯・口腔の外傷予防	鈴木 浩司
2017/05/26 (金)	ブラキシズム	【授業の一般目標】	飯田 崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 08:40～09:30	ブラキシズム	ブラキシズムへの適切な歯科的対応を行うために、ブラキシズムの定義と病因について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. ブラキシズムの定義について説明できる。 2. ブラキシズムの病因について説明できる。 3. ブラキシズムの顎口腔領域への影響について説明できる。 4. ブラキシズムへの歯科的対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 キ ブラキシズム 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 *⑥下顎の随意運動の基本を説明できる。	飯田 崇
2017/05/27（土） 1時限 08:40～09:30	スポーツマウスガードの作製方法	【授業の一般目標】 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、スポーツ時の口腔外傷予防するためにスポーツマウスガード製作の知識、態度を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. スポーツマウスガードの目的を説明できる。 2. スポーツマウスガードの種類を説明できる。 3. スポーツマウスガードの製作法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：スポーツマウスガードについて 準備学習時間：約1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業プリント配布 参考図書：要説スポーツ歯学 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 5 その他の疾患の予防・管理 ク スポーツによる歯・口腔の外傷予防 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-2 診察の基本 F-2-3) 口唇・口腔内状態の診察 ①口唇・口腔内の状態を診察できる。 F-5 地域医療 ②多職種連携（医師、薬剤師、看護師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の医療職）のチーム医療を理解し、体験する。	鈴木 浩司
2017/05/29（月） 1時限 08:40～09:30	睡眠時無呼吸症候群（1）	【授業の一般目標】 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 睡眠の生理について説明できる 2. 基礎的な睡眠医学について説明できる 3. 睡眠時無呼吸症候群の特徴について説明できる。 4. 睡眠時無呼吸症候群の合併症について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：睡眠時無呼吸症について 準備時間：約1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント 参考図書：睡眠呼吸障害 診断・治療ハンドブック	鈴木 浩司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/29 (月) 1時限 08:40～09:30	睡眠時無呼吸症候群 (1)	【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ク 睡眠時無呼吸症候群	鈴木 浩司
2017/05/30 (火) 1時限 08:40～09:30	睡眠時無呼吸症候群 (2)	【授業の一般目標】 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 睡眠時無呼吸症候群に対する治療について説明できる 2. 睡眠時無呼吸症候群への歯科的対応を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：睡眠時無呼吸症について 準備学習時間：約1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント 参考図書：睡眠呼吸障害 診断・治療ハンドブック 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ク 睡眠時無呼吸症候群 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 9 特殊な装置による治療 オ 下顎前方保持装置による治療	鈴木 浩司
2017/05/31 (水) 1時限 08:40～09:30	睡眠時無呼吸症候群の歯科的対応	【授業の一般目標】 国民の健康に対する要望に応えるために、また歯科診療の展開の一助とするために、睡眠健康科学の知識、態度を習得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 睡眠時無呼吸症候群への歯科的対応を説明できる。 2. 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置製作について説明できる 3. 睡眠時無呼吸症候群に対する口腔内装置の装着について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：睡眠時無呼吸症の治療について 準備学習時間：約1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント 参考図書：睡眠時無呼吸症候群の口腔内装置治療 【学修方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ク 睡眠時無呼吸症候群 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 9 特殊な装置による治療 オ 下顎前方保持装置による治療	鈴木 浩司 吉村 万由子
2017/06/01 (木) 1時限 08:40～09:30	自家歯牙移植・意図的再植のサイエンス	【授業の一般目標】 難治性根尖性歯周炎に対応するために、自家歯牙移植、意図的再植術の術式、治療過程について理解する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 自家歯牙移植について説明することができる。 2. 意図的再植術について説明することができる。	牧村 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/01 (木) 1時限 08:40～09:30	自家歯牙移植・意図的再植のサイエンス	【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：自家歯牙移植、意図的再植について 準備学修時間：約1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 シ 外科的歯内療法	牧村 英樹
2017/06/02 (金) 1時限 08:40～09:30	再生歯科医療の現状と展望	【授業の一般目標】 再生医療を学ぶため必要な知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 生体防御を利用した象牙質再生を理解する 【準備学修項目と準備学修時間】 なし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成	菊地 信之
2017/06/03 (土) 1時限 08:40～09:30	歯科領域における再生医療の現状と展望	【授業の一般目標】 歯科領域の再生医療の現状と展望について知ることができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科領域の再生医療の現状について説明できる。 2. 歯牙凍結保存について説明できる。 3. 再生医療の話題を話せる。 【準備学修項目と準備学修時間】 なし 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化 a 歯の変化	牧村 英樹
2017/06/10 (土) 1時限 08:40～09:50	平常試験②-2	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室	村上 洋

成長・発育

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	岡本 京（小児歯科学）

学修ユニット 学修目標 (G I O)	
担当教員	岡本 京
評価方法 (E V)	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/18 (火) 1時限 08:40～09:30	セファロ分析に基づく矯正治療の流れと使用する器材	【授業の一般目標】 適切な矯正治療を行うためにセファロ分析に基づく矯正治療の流れを理解し、使用する器材について修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. セファロ撮影の方法について説明できる。 2. セファロ分析の基準点・基準平面について説明できる。 3. 精密検査で行う項目を列挙し、それぞれの目的を説明できる。 4. 矯正治療に器具・器材を列挙し、その使用目的について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科矯正学教科書および4年次講義で使用したプリントを復習しておくこと ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 無し、教科書、資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 8 不正咬合の診断 イ 検査	齋藤 勝彦
2017/06/13 (火) 1時限 08:40～09:30	小児の歯・歯列の発育と特徴	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の歯・歯列の発育と特徴について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 乳歯、永久歯の形態および特徴を説明できる。 2. 歯の形態異常を説明できる。 3. 歯の発育時期について説明できる。 4. Hellmanの歯齢を列記できる。 5. 乳歯列および混合歯列の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯列・咬合の発育、歯の発育と異常 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第3版、第4版」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 ウ 歯列・咬合の成長発育	伊藤 龍朗
2017/06/14 (水) 1時限 08:40～09:30	小児の心身発達	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患に適切に対応するために、小児の心身発達について理解する。 【行動目標（SBOs）】	清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/14 (水) 1時限 08:40～09:30	小児の心身発達	1. 小児の身体発達について説明できる。 2. 小児の情動の発達について説明できる。 3. 小児の運動機能の発達について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：小児の発達 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」、学建書院「小児の口腔科学 第3版、第4版」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 エ 新生児期、乳児期 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 オ 幼児期、学童期 カ 思春期 キ 成長・発達の評価 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。	清水 邦彦
2017/06/15 (木) 1時限 08:40～09:30	摂食嚥下機能の発達	【授業の一般目標】 発達期の障害児に対し摂食嚥下指導ができるようになるために、摂食嚥下機能の発達を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 発達の原則について説明できる。 2. 摂食・嚥下機能の発達について説明できる。 3. 摂食・嚥下障害について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学 P38～P52 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 歯学生のための摂食・嚥下リハビリテーション学 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 b 発育期の特徴	猪俣 英理
2017/06/16 (金) 1時限 08:40～09:30	咬合誘導	【授業の一般目標】 乳歯および混合歯列期に生じた歯の欠損と歯列不正に対応するために、静的保隙と動的咬合誘導を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保隙の必要性を説明できる。 2. 咬合誘導の概念を説明できる。 3. 歯列不正の原因を説明できる。 4. 保隙装置とその適応、管理について説明できる。 5. 保隙装置の作成方法および作成時の注意点について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：静的保隙と動的咬合誘導 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」 学建書院「小児の口腔科学 第3版、第4版」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】	根本 晴子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/16 (金) 1時限 08:40～09:30	咬合誘導	4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 イ 咬合誘導の考え方 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 6 歯列・咬合異常の予防 エ 動的咬合誘導 オ 口腔習癖とその対応 7 不正咬合の病因・病態 エ 不正咬合の原因 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 ＊⑧咬合誘導の概念を説明できる。	根本 晴子
2017/06/17 (土) 1時限 08:40～09:30	小児の歯周疾患、 軟組織疾患	【授業の一般目標】 小児の歯科疾患の診断および治療ができるようになるために、歯周疾患、口腔軟組織疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 小児の歯周疾患の種類および特徴について説明できる。 2. 小児の歯周疾患の処置について説明できる。 3. 口腔軟組織について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：小児の歯周疾患 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医歯薬出版「小児歯科基礎・臨床実習 第2版」 学建書院「小児の口腔科学 第3版、第4版」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 ア 歯周病の特徴 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 ア 歯周病の特徴 イ 歯周病への対応 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 イ 口腔軟組織の炎症 4 軟組織に発生する嚢胞 ア 萌出嚢胞 ウ 粘液嚢胞 6 口腔粘膜疾患 ア 単純疱疹＜疱疹性口内炎＞ ウ ヘルパンギーナ エ 手足口病 1 2 唾液腺疾患 セ 粘液嚢胞	小川 奈保
2017/06/20 (火) 1時限 08:40～09:30	成長発育と評価	【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、頭蓋・顎顔面の成長パターンおよび成長発育の評価法を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 成長発育の評価について説明できる。 2. 骨年齢とその評価について説明できる。 3. 成長スパートの予測について説明できる。 4. 脳頭蓋の成長について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：①Scammonの臓器発育曲線について ②生理的年齢について ③脳頭蓋の成長様式について ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第5版	五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/20 (火) 1時限 08:40～09:30	成長発育と評価	【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 e 身体成長と精神発達の評価法（K a u p 指数、R o h r e r 指数、B M I、歴年齢、生理学的年齢、発達スクリーニング検査） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 キ 成長・発達の評価 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 ア 脳頭蓋の成長発育	五関 たけみ
2017/06/21 (水) 1時限 08:40～09:30	顎顔面頭蓋の成長発育	【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面の成長発育を考慮した矯正治療を実践するために、脳頭蓋と顎顔面の成長発育に影響を及ぼす因子について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 鼻上顎複合体の成長発育を述べることができる。 2. 下顎骨の成長発育の特徴を述べることができる。 3. 頭蓋・顎顔面形態の異常を特徴とする先天異常を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎顔面頭蓋の成長発育 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、P C によるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第5版 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 イ 顔面頭蓋の成長発育 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 h 先天異常、発育異常 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ア 先天異常・後天異常	石井 かおり 五関 たけみ
2017/06/22 (木) 1時限 08:40～09:30	不正咬合の特徴1 （下顎前突）	【授業の一般目標】 下顎前突を主訴に来院した患者の相談に適切に対応するために必要な基本的知識について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 下顎前突の発現要因を説明できる。 2. 機能性反対咬合の特徴を述べることができる。 3. 骨格性下顎前突の特徴を述べることができる。 4. 反対咬合の早期治療について説明できる。 5. 反対咬合の治療に用いる装置とその使用目的を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：①早期治療について ②機能検査の種類について ③乳歯混合歯列で使用する矯正装置について ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、P C によるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第5版 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ウ 歯列、咬合 【国家試験出題基準（副）】	根岸 慎一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/22 (木) 1時限 08:40～09:30	不正咬合の特徴1 (下顎前突)	必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとりえ方 e 歯列・咬合の症候 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 e 不正咬合 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の病因・病態 エ 不正咬合の原因 オ 不正咬合による障害 8 不正咬合の診断 エ 治療計画 1 1 不正咬合の治療 ア 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(1) 先天異常および後天異常 *③顎変形症を概説できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。 F 臨床実習 F-1 0 矯正歯科実習 F-1 0-2) 矯正装置の説明 ①矯正治療の必要性を説明できる。 ②矯正装置について説明できる。	根岸 慎一
2017/06/23 (金) 1時限 08:40～09:30	不正咬合の特徴2 (上顎前突)	【授業の一般目標】 上顎前突を主訴に来院した患者からの相談に適切に対応するために必要な基本的知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 上顎前突の発現要因を説明できる。 2. 上顎前突の形態的特徴を列挙できる。 3. 上顎前突の機能的特徴を列挙できる。 4. 上顎前突の早期治療について説明できる。 5. 上顎前突の治療に用いる矯正装置とその使用目的を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：①口腔腔習癖について ②早期治療について ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業配布プリント、PCによるスライド 参考図書：医歯薬出版「歯科矯正学」第5版 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ウ 歯列、咬合 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 主要な症候 イ 歯・口腔・顎・顔面の症候のとりえ方 e 歯列・咬合の症候 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 e 不正咬合 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 7 不正咬合の病因・病態 エ 不正咬合の原因 オ 不正咬合による障害 8 不正咬合の診断 エ 治療計画 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *③不正咬合によって生じる障害を列挙できる。 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。 *⑥矯正装置の種類と特徴、および使用目的を説明できる。 F 臨床実習 F-1 0 矯正歯科実習 F-1 0-2) 矯正装置の説明 ①矯正治療の必要性を説明できる。 ②矯正装置について説明できる。	清水 真美 五関 たけみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/23 (金) 1時限 08:40～09:30	不正咬合の特徴2 (上顎前突)		清水 真美 五関 たけみ
2017/06/24 (土) 1時限 08:40～09:30	障害者への対応	【授業の一般目標】 スペシャルニーズがある人に対する歯科臨床場面において、治療に対する不安や恐怖を取り除くための支援について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 行動調整について説明できる。 2. オリエンテーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（医歯薬出版） ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学修媒体：授業配布プリント、スライド 参考図書：スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科（医歯薬出版） 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 カ 乳幼児・高齢者・妊産婦・障害者・要介護者の治療 a 治療環境	矢口 学
2017/06/26 (月) 1時限 08:40～09:30	小児期の治療時に 留意すべき疾患	【授業の一般目標】 小児への対応を適切に行うために、小児期の治療時に留意すべき疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 口腔症状を伴う全身疾患について説明できる。 2. 口腔症状を伴う全身疾患についての治療上の注意について説明できる。 3. 遺伝性疾患とその顎頭蓋顔面症候について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：『小児の口腔科学』p. 399～434 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学修媒体：授業配布プリント、PCスライド 参考図書：学研書院『小児の口腔科学』第3版 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 ウ 鎖骨頭蓋骨異形成症 <鎖骨頭蓋異骨症> 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 成長発育に関連した疾患・病態 1 歯・口腔・顎・顔面の発育を障害する先天異常 エ 骨形成不全症 オ Treacher Collins 症候群 <下顎顔面異骨症> カ Crouzon 症候群 <頭蓋顔面異骨症> キ Apert 症候群 <尖頭合指症> ケ 第一第二鰓弓症候群 ス Beckwith-Wiedemann 症候群<EMG症候群> セ Robinシークエンス <Pierre Robin 症候群> ソ エナメル質形成不全 {症} タ 象牙質形成不全症	岡本 京
2017/06/27 (火) 1時限 08:40～09:40	平常試験③	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：成長・発育 ・準備学修時間：試験に必要な時間 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室	岡本 京
2017/09/09 (土) 1時限 08:40～09:30	顎変形症の診断と 治療	【授業の一般目標】 顎変形症の分類、診断、治療の基礎について理解する。	高橋 康輔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	顎変形症の診断と治療	【行動目標（SBOs）】 - 顎変形症の分類を説明できる。 - 顎変形症の診断し、説明することができる。 - 顎変形症の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 7 顎顔面の変形を来す疾患・病態 ア 顎変形症 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 7 顎顔面の変形を来す疾患・病態 オ 顎顔面骨の変形に対する治療 a 顎矯正手術	高橋 康輔
2017/09/15（金） 1時限 08:40～09:30	顔面・口腔の裂奇形	【授業の一般目標】 顔面・口腔の裂奇形を説明できるようになるために、必要な知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 - 裂奇形を呈する疾患について診断できるようになるために、裂奇形を理解する。 - 裂奇形について説明できる。 - 唇裂の分類について説明できる。 - 唇裂による障害について説明できる。 - 口蓋裂の分類について説明できる。 - 口蓋裂による障害について説明できる。 - 顔面に生じる裂奇形の分類を列記できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 口腔外科領域における先天奇形の項目の確認30分（実践を中心に） 4年次に授業を行った範囲の再確認30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 特になし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 先天異常と変形を主徴とする疾患 ア 口唇・口蓋裂 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(1) 先天異常および後天異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面に症状をきたす先天性異常を説明できる。 *②口唇・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 *③顎変形症を概説できる。 E-2-4)-(9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。 *⑥口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す系統的骨疾患の症状、診断および治療法を列挙できる。	大峰 浩隆

加齢と歯の欠損

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	飯島 守雄（有床義歯補綴学）

学修ユニット 学修目標 (G I O)	
担当教員	飯島 守雄
評価方法 (E V)	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/28 (水) 1時限 08:40～09:30	総義歯補綴学概論	【授業の一般目標】 無歯顎患者の旧義歯における問題点の解決と新義歯の治療を円滑に進めるために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 無歯顎患者のプロブレムリストを作成できる 2. 患者の補綴学的、身体的、社会的な問題点を抽出できる 3. 旧義歯の問題点を補綴学的に解釈できる 4. 旧義歯の問題点に関する検査を列举できる 5. 検査結果を観察記録として記載できる 6. 観察記録を総合して問題点の考察ができる 7. 問題点の考察に基づき原因の診断ができる 8. 診断に基づき、治療計画を立案できる 9. 治療計画に基づき対処を行う事ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学第2版 p76～83 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 本講義を基礎に問題解決のためのアクティブラーニング ①各グループに配当される無歯顎患者様の協力を仰ぎ総義歯補綴の臨床実習を進行する。 ②各グループに配当された旧義歯のプロブレムリストに基づき行う。教授カンファレンス。 を行う 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 1 治療計画 ア 治療計画の立案 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論X 治療 1 治療計画 イ 治療計画を左右する因子 ウ 治療計画の提示	河相 安彦
2017/06/29 (木) 1時限 08:40～09:30	局部床義歯学総論	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損の特性を理解し、可撤性義歯を活用した補綴治療の臨床的意義とその方法を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 歯列部分欠損による障害とその病体を説明できる。 3. 部分床義歯の種類と適応症を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 局部床義歯の目的について 局部床義歯の種類 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 臨床スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 12 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 ア 口腔の形態・機能の変化 【国家試験出題基準（副）】	飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/29 (木) 1時限 08:40～09:30	局部床義歯学総論	歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。 *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。	飯島 守雄
2017/06/30 (金) 1時限 08:40～09:30	総義歯装着後の管理	【授業の一般目標】 総義歯装着後のトラブルを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 義歯装着後の痛みを説明できる。 2. 装着後に生じる維持不良の原因を説明できる 3. 装着後に生じる発音障害の原因を説明できる。 4. 装着後に生じる審美不良の原因を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 無歯顎補綴治療学第2版 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：なし 学習媒体：授業プリント、PCでの解説 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 サ 装着	木本 統
2017/07/01 (土) 1時限 08:40～09:30	局部床義歯装着後の管理	【授業の一般目標】 局部床義歯装着後に起こる様々な合併症を解決するために、それらの原因と対応について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯装着後に起こる合併症の種類について説明できる。 2. 局部床義歯装着後に起こる合併症の原因について説明できる。 3. 局部床義歯装着後に起こる合併症への対応について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習の推奨 日本補綴歯科学会ホームページ 診療ガイドラインの入手 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングなし 401教室、スライド 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 401教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 10 管理 ウ 残存組織の変化とその対応 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 10 管理 エ 咬合の変化とその対応 オ 機能低下とその対応 カ 補綴装置の破損とその対応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *③可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	大久保 昌和
2017/07/03 (月) 1時限 08:40～09:30	局部床義歯補綴学概論	【授業の一般目標】 部分無歯顎患者の旧義歯における問題点の解決と新義歯の治療を円滑に進めるために必要な知識、技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】	飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/03 (月) 1時限 08:40～09:30	局部床義歯補綴学 概論	1. 部分歯牙欠損患者のプロブレムリストを作成できる。 2. 患者の補綴学的、身体的、社会的な問題点を抽出できる 3. 旧義歯の問題点を補綴学的に解釈できる 4. 旧義歯の問題点に関する検査を列挙できる 5. 検査結果を観察記録として記載できる 6. 観察記録を総合して問題点の考察ができる 7. 問題点の考察に基づき原因の診断ができる 8. 診断に基づき、治療計画を立案できる 9. 治療計画に基づき対処を行う事ができる 【準備学修項目と準備学修時間】 歯学性のパーシャルデンチャー 第1,3章 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 本講義を基礎に ①各グループに配当される部分歯牙欠損患者様の協力を仰ぎ局部床義歯補綴の臨床実習を進行する。 ②各グループに配当された旧義歯のプロブレムリストに基づき行う。 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 X 治療 1 治療計画 ア 治療計画の立案 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 X 治療 1 治療計画 イ 治療計画を左右する因子 ウ 治療計画の提示	飯島 守雄
2017/07/06 (木) 1時限 08:40～09:30	生理学と咀嚼系の 機能障害	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために。補綴学の顎機能に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標（S B O s）】 1. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ、説明できる。 2. 下顎運動の基準となる点、線、面を分類し、説明できる。 3. 下顎位の名称を挙げ、説明できる。 4. 下顎の限界運動について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 ・準備学修時間：3 0 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動	飯田 崇
2017/07/07 (金) 1時限 08:40～09:30	下顎運動および口 腔機能検査	【授業の一般目標】 補綴治療の際に必要な下顎運動および口腔機能検査の準備と診療補助ができるようになるために、使用する器材と目的を理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 咬合検査の方法と目的を理解する。 2. 下顎運動検査の方法と目的を理解する。 3. 筋機能検査を方法と目的を説明できる。 4. 模型を用いた検査の方法と目的を理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 ・準備学修時間：30 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し。 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査	浅野 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/07 (金) 1時限 08:40～09:30	下顎運動および口腔機能検査	コ 下顎運動検査	浅野 隆
2017/07/08 (土) 1時限 08:40～09:30	摂食嚥下障害とリハビリテーション	【授業の一般目標】 摂食嚥下リハビリテーションを理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 摂食嚥下障害の検査について説明できる。 2. 摂食嚥下リハビリテーションについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 摂食嚥下障害の検査およびリハビリテーションについて説明できる。（60分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 16 摂食・嚥下障害 イ 摂食・嚥下障害の対応 a リハビリテーションの理念 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 16 摂食・嚥下障害 イ 摂食・嚥下障害の対応 b 間接訓練 c 直接訓練、段階的摂食訓練 d 食事指導、食事介助 e 歯科のアプローチ c スクリーニングテスト d 検査	三田村 佐智代
2017/07/10 (月) 1時限 08:40～09:30	高齢者の歯科治療	【授業の一般目標】 適切な高齢者の口腔管理を行うために、高齢者への歯科治療、口腔管理方法、摂食・嚥下障害への対応について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 高齢者の歯科治療について説明できる。 2. 高齢者の口腔衛生管理について説明できる。 3. 高齢者における摂食・嚥下障害の原因について説明できる。 4. 高齢者の栄養管理について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：参考図書の授業範囲を熟読する。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 18 補綴歯科治療 ウ 機能低下とその対応	飯田 崇
2017/07/11 (火) 1時限 08:40～09:40	平常試験④	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室	飯島 守雄

齲蝕と硬組織欠損

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	岩井 啓寿（保存修復学）

学修ユニット 学修目標 (G I O)	
担当教員	岩井 啓寿
評価方法 (E V)	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/12（水） 1時限 08:40～09:30	歯の正常機能と構造	【授業の一般目標】 適切な修復処置が行えるように、歯の正常機能と構造について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質の機能と構造について説明できる。 2. 象牙質の機能と構造について説明できる。 3. 象牙質複合体について説明できる。 4. セメント質の機能と構造について説明できる。 5. 歯式の表記法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯の構造 ・準備学修時間：45分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体 オ セメント質 イ 歯式	岩井 啓寿
2017/07/13（木） 1時限 08:40～09:30	唾液・常在微生物叢、バイオフィルム・齲蝕の病因	【授業の一般目標】 齲蝕発症のメカニズムを理解するために唾液、口腔常在菌叢およびバイオフィルムについて理解する 【行動目標（SBOs）】 1. 口腔常在菌について説明できる。 2. バイオフィルムについて説明できる。 3. 齲蝕の病因について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 イ 病原微生物 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 6 感染症、アレルギー、免疫疾患 ウ 宿主側の因子 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齲蝕	岡田 珠美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/13 (木) 1時限 08:40～09:30	唾液・常在微生物叢、バイオフィルム・齲蝕の病因	イ 齲蝕のリスクファクター	岡田 珠美
2017/07/14 (金) 1時限 08:40～09:30	齲蝕の病態と主要症候および検査	【授業の一般目標】 齲蝕を理解するために、病因・病態、主要症候ならびにそれらの検査法について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯の硬組織疾患の病因・病態を説明できる。 2. 歯の硬組織疾患の主要症候を説明できる。 3. 歯の硬組織疾患の検査法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯の硬組織疾患の特徴と検査法について ・準備学修時間： 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ア 歯の硬組織の検査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患	寺中 文子
2017/07/15 (土) 1時限 08:40～09:30	診療用器具と成形修復材料	【授業の一般目標】 保存修復学の基本の一つである成形修復中の特にコンポジットレジンおよびグラスアイオノマーセメント修復に用いる器具・器材、材料の組成・特徴、手順および不快事項について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 成形修復窩洞について説明できる。 2. 成形修復で使用する器具・器材について説明できる。 3. 成形修復の特徴について説明できる。 4. 成形修復の組成とその意義について説明できる。 5. コンポジットレジン修復の手順について説明できる。 6. グラスアイオノマーセメント修復の手順について説明できる。 7. 各種修復法の不快事項について説明できる。 8. コンポジットレジンとグラスアイオノマーセメント修復の違いについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 オ 象牙質・歯髄保護法 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 7 予防填塞・成形修復・歯内療法用材料 ア コンポジットレジン イ 歯質接着処理材、接着性モノマー ウ グラスアイオノマーセメント	岡田 珠美
2017/07/18 (火) 1時限 08:40～09:30	診療用器具と補綴修復材料	【授業の一般目標】 クラウンブリッジに用いられる診療用器具と補綴修復材料について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 検査に必要な器具と材料について説明できる。 2. 支台歯形成に用いるエアータービンとマイクロモーターの特徴を知る。 3. 研磨切削用具の種類と使用方法を知る。 4. 咬合採得に使用する材料と機器の特徴を知る。 5. プロビジョナルレストレーションに用いる器具と材料を知る。	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/18 (火) 1時限 08:40～09:30	診療用器具と補綴 修復材料	6. 印象採得に用いる器具と材料の特徴を知る。 7. 補綴物の調整に用いる器具と材料を知る。 8. 仮着と合着に用いる材料を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学 医歯薬出版 第2章 臨床操作 1, 第4章 臨床操作 2 の主たる項目について予習する。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：授業プリント 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ト 歯質・歯の欠損による障害の治療 a 基本的術式 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 イ エアータービン ウ マイクロモータ 3 切削、研削、研磨 ア 切削・研削器具 5 模型用材料 ア 歯科用石膏 8 歯冠修復用材料 ア レジン 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 4 クラウンブリッジによる治療 セ 装着	田中 孝明
2017/07/19 (水) 1時限 08:40～09:30	支台築造と支台歯 形成	【授業の一般目標】 損なわれた顎口腔系の形態と機能の回復を図るために必要な補綴臨床における治療法に関する知識を習得する。 【行動目標（S B O s）】 1. 支台築造の種類と方法を説明できる。 2. 築造窩洞形成の原則と手順を説明できる。 3. 支台築造の選択基準を説明できる。 4. 歯頸部辺縁形態の分類と適応を説明できる。 5. 全部被覆冠の支台歯形成の手順を説明できる。 6. 部分被覆冠の支台歯形成の手順を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学第5版。クラウンブリッジ補綴学実習指針 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無。 PC、配布プリント 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造	後藤 治彦
2017/07/20 (木) 1時限 08:40～09:30	印象採得と咬合採 得	【授業の一般目標】 クラウンブリッジの印象採得と咬合採得の特徴と手法を学習する。 【行動目標（S B O s）】 1. クラウンブリッジの印象採得に用いる材料を列举することができる。 2. 印象採得の手順を説明できる。 3. 印象法の種類と特徴を説明できる。 4. クラウンブリッジの咬合採得に用いる材料を列举できる。 5. 咬合床を用いる印象採得の必要性を述べることができる。 6. 咬合採得の下顎位を説明できる。 7. チェックバイトの目的を説明できる。 8. チェックバイトを用いた咬合器の調整方法を説明できる。	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/20 (木) 1時限 08:40～09:30	印象採得と咬合採得	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：クラウンブリッジ補綴学 医歯薬出版 V 印象採得 VII 顎間関係の記録（咬合採得）を予習する。 ・準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：なし 学習媒体：授業プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録	田中 孝明
2017/07/21 (金) 1時限 08:40～09:30	歯の審美障害	【授業の一般目標】 歯の審美障害を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、変色歯、形態不全歯、歯間離開の診断と処置方針について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯の審美障害を引き起こす疾患について説明できる。 2. 歯の変色の原因、診断、処置方針について説明できる。 3. 形態不全歯の診断と処置方針について説明できる。 4. 歯間離開の処置方針について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：保存修復学第6版（p. 17～20、p82～88）の再読 準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 オ 歯の変色・着色 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 エ 形成異常 カ 歯の亀裂・破折、脱臼 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 キ 歯の漂白 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *②歯の発育障害と加齢変化の病因と病態を説明できる。	神谷 直孝
2017/07/22 (土) 1時限 08:40～09:30	歯の損耗の病因・病態と対処法	【授業の一般目標】 歯の損耗（Tooth Wear）によるさまざまな症状を主訴とする患者に適切に対応できるようになるために、Tooth Wearの臨床症状と診断および処置方針について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. Tooth Wearの病因、病態および診断を説明できる。 2. Tooth Wearの処置方針を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：保存修復学第6版（p. 15～17、p75～79）の再読 準備学修時間：60分	神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/22 (土) 1時限 08:40～09:30	歯の損耗の病因・ 病態と対処法	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ウ 歯の損耗 <Tooth Wear> 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 ク 身体的・社会的・心理的要因と保存修復 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *③tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。	神谷 直孝
2017/07/24 (月) 1時限 08:40～09:30	歯冠補綴装置のト ラブル対処法	【授業の一般目標】 クラウンあるいは支台装置の脱離、破折した際の対応処置と修理方法を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 支台築造の原則を説明することができる。 2. 支台築造の目的を列挙できる。 3. 帯環効果を説明できる。 4. 脱離の原因を説明できる。 5. 前装部の脱離と破折の原因を説明できる。 6. 前装部の修理方法を述べるることができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学第5版 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 学習場所：401 学習媒体：PC 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 10 管理 カ 補綴装置の破損とその対応 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成 エ 支台築造 セ 装着 ソ 患者指導	小林 平
2017/08/21 (月) 1時限 08:40～09:30	最新の歯冠補綴臨 床	【授業の一般目標】 歯冠補綴治療における最新の臨床技術、材料、器具等について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. メラニン色素の沈着による歯肉の変色の原因を理解し、対処法について説明できる。 2. 歯冠補綴処置における前処置の方法を説明できる 3. ブラックトライアングルの原因と対処方法について説明できる。 4. ラミネートベニアの適応症と術式を説明できる。 5. オールセラミックによる審美治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 クラウンブリッジ補綴学 第5版 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】	小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/08/21（月） 1時限 08:40～09:30	最新の歯冠補綴臨床	401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅴ 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件	小林 平
2017/08/22（火） 1時限 08:40～09:40	平常試験⑤	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート，講義配布資料，教科書，実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室	岩井 啓寿

炎症

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	高井 英樹（歯周治療学）

学修ユニット 学修目標 (G I O)	
担当教員	高井 英樹
評価方法 (E V)	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/08/25（金） 1時限 08:40～09:30	炎症の病理組織学	【授業の一般目標】 歯髄、歯周組織及び顎骨の炎症性疾患を正しく診断・治療するために、炎症の病理組織学的知識や組織特異性について学修する。 【行動目標（SBOs）】 1. 炎症の病因について解説できる。 2. 炎症の成り立ちと徴候について病理組織学的に説明できる。 3. 炎症の病理組織学的分類について解説できる。 4. 歯髄組織及び根尖性歯周組織の炎症性変化について説明できる。 5. 辺縁歯周組織の炎症性変化について解説できる。 6. 顎骨の炎症性変化について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： 炎症の5徴候 炎症の病理組織学的分類 急性炎症と慢性炎症の相違点 歯髄炎及び根尖性歯周組織の炎症の病理組織学的特徴 辺縁歯周組織の炎症の病理組織学的特徴 顎骨の炎症の病理組織学的特徴 準備学修時間：40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 ア 炎症の概念 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖性歯周組織・辺縁歯周組織の疾患 オ 顎・顎関節の疾患	宇都宮 忠彦
2017/08/28（月） 1時限 08:40～09:30	根尖性歯周炎の分類・診断	【授業の一般目標】 誘発痛や自発痛を主訴とする患者に対し、歯髄炎・根尖性歯周炎の診断および処置方針の決定ができるようになるために、臨床症状をもとに歯髄炎・根尖性歯周炎の特徴を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.1) 歯髄炎・根尖性歯周炎の原因を説明できる。 2.2) 歯髄炎・根尖性歯周炎の進行の特徴を説明できる。 3.3) 可逆性歯髄炎、不可逆性歯髄炎の特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 炎症の基本的な病態、臨床症状を確認しておくこと。 準備学習時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 パワーポイント、授業プリント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室	岡部 達

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/08/28 (月) 1時限 08:40～09:30	根尖性歯周炎の分類・診断	【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患	岡部 達
2017/08/29 (火) 1時限 08:40～09:30	歯髄炎・根尖性歯周炎の治療の基礎	【授業の一般目標】 歯髄・根尖歯周組織疾患を適切に治療できるようになるために、可逆性歯髄炎に対する処置について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 覆髄法の分類と処置について説明できる。 2. 歯髄鎮痛消炎療法について説明できる。 3. 生活歯髄切断法について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断 準備学修 1 時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 学修媒体 PC・講義資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。	神尾 直人
2017/08/30 (水) 1時限 08:40～09:30	歯髄炎・根尖性歯周炎の治療の基礎	【授業の一般目標】 歯髄・根尖性歯周疾患を適切に治療できるようになるために、全部性歯髄炎、根尖性歯周炎に対する治療について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 根管治療の原則について説明できる。 2. 歯髄除去療法について説明できる。 3. 感染根管治療について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎・根尖性歯周炎の分類・診断 準備学修時間 1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無し 学修媒体 PC・講義資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法	神尾 直人
2017/08/31 (木) 1時限 08:40～09:30	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療	【授業の一般目標】 歯周疾患を正確に診断・治療するために、歯周組織の構造、歯周疾患の診査法および診断名について学習する。	高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	の基礎	【行動目標（SBOs）】 1. 正常歯周組織を理解する。 2. 歯周病の原因と進行機序を理解する。 3. 歯周病の診査法を理解する。 4. 歯周病の診断名を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第2版（第1～3章、13、14章）を熟読する。 準備学習時間：2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎	高井 英樹
2017/09/01（金） 1時限 08:40～09:30	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎	【授業の一般目標】 歯周疾患を正確に診断・治療するために、歯周疾患の診査法および治療法について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病の診査法を理解する。 2. 歯周基本治療の内容を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第2版（第4～7章、12章）を熟読する。 準備学習時間：2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎	高井 英樹
2017/09/02（土） 1時限 08:40～09:30	歯周疾患（主に歯肉炎・歯周炎）の分類・診断・治療の基礎	【授業の一般目標】 歯周病の治療法を理解するために、歯周外科手術および治療後の治癒機転・予後について学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周外科治療について理解する。 2. メインテナンスとSPTについて理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：臨床歯周治療学第2版（第8、9、11、25～28章）を熟読する。 準備学習時間：2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニングの有無：無 学習媒体：授業プリント，PCでの解説 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 エ 歯周外科治療	高井 英樹
2017/09/04（月） 1時限 08:40～09:30	隙の分類・炎症の波及経路	【授業の一般目標】 炎症の患者に対応できるようになるために、隙の分類・炎症の波及経路について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 隙の分類を説明できる。 2. 隙を理解し、説明することができる。 3. 炎症の波及経路を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】	青木 暁宣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/04 (月) 1時限 08:40～09:30	隙の分類・炎症の波及経路	準備学修項目：隙の分類、炎症の波及経路について 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 3 軟組織の炎症 イ 口腔軟組織の炎症	青木 暁宣
2017/09/05 (火) 1時限 08:40～09:30	顎骨の炎症（主に骨髄炎・上顎洞炎）	【授業の一般目標】 骨髄炎・上顎洞炎の患者に対応できるようになるために、顎骨に生じる骨髄炎・上顎洞炎の分類、診断、病期、症状、治療の基礎について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 骨髄炎・上顎洞炎の分類を説明できる。 2. 骨髄炎・上顎洞炎を診断できる。 3. 骨髄炎・上顎洞炎の病期を説明できる。 4. 骨髄炎・上顎洞炎の症状を説明できる。 5. 骨髄炎・上顎洞炎の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：骨髄炎と上顎洞炎について。 準備学修時間：1時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無し 学習媒体：授業スライド 参考図書：医学書院「標準口腔外科学 第4版」、医歯薬出版「口腔外科学 第3版」、学建書院「口腔外科学 第5版」、「サクシント口腔外科学 第3版」 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 9 歯槽骨・顎骨の炎症 オ 顎骨骨髄炎 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 9 歯槽骨・顎骨の炎症 カ 歯性上顎洞炎	青木 暁宣
2017/09/06 (水) 1時限 08:40～09:40	平常試験⑥	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：講義ノート、講義配布資料、教科書、実践問題集等 ・準備学修時間：十分な準備学修時間をとること 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室	高井 英樹

嚢胞・腫瘍

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	山本 泰（口腔外科学）

学修ユニット 学修目標 (G I O)	
担当教員	宇都宮 忠彦、濱野 美緒、高橋 康輔、山本 泰、大峰 浩隆、牧山 康秀
評価方法 (E V)	平常試験

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/07（木） 1時限 08:40～09:30	嚢胞の分類	【授業の一般目標】 口腔・顎・顔面領域に発生する嚢胞を正しく診断・治療するために、分類及び病理学的特徴について学修する。 【行動目標（SBOs）】 1. 顎骨に発生する嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 2. 軟組織に発生する嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 3. 歯原性炎症性嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 4. 歯原性発育性嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 5. 偽嚢胞を列挙し、病理組織学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： 嚢胞の病理組織学的分類 準備学修時間：40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 カ 嚢胞	宇都宮 忠彦
2017/09/08（金） 1時限 08:40～09:30	顎骨の歯原性嚢胞 と非歯原性嚢胞	【授業の一般目標】 口腔顎顔面領域に発生する嚢胞を説明できるようになるために、学習する。 【行動目標（SBOs）】 1. 顎骨嚢胞の種類を列記できる。 2. 顎骨嚢胞の診断ができる。 3. 顎骨嚢胞の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：顎骨嚢胞の種類・診断・治療法 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 10 顎骨に発生する嚢胞性疾患 ウ 含歯性嚢胞 ＜濾胞性歯嚢胞＞ 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 10 顎骨に発生する嚢胞性疾患 ア 歯根嚢胞 イ 歯周嚢胞 エ 原始性嚢胞 カ 鼻口蓋管嚢胞＜切歯管嚢胞＞ キ 術後性上顎嚢胞 ク 単純性骨嚢胞 コ 静止性骨空洞 サ 嚢胞に対する治療	濱野 美緒
2017/09/11（月）	腫瘍の分類	【授業の一般目標】	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 08:40～09:30	腫瘍の分類	口腔・顎・顔面領域に発生する腫瘍を正しく診断・治療するために、分類及び病理組織学的特徴について学修する。 【行動目標（SBOs）】 1. 非歯源性腫瘍を分類列举し、病理組織学的特徴について説明できる。 2. 歯源性腫瘍を分類列举し、病理組織学的特徴について説明できる。 3. 良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目： 良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点 歯源性腫瘍と非歯源性腫瘍 準備学修時間：40分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無し マルチメディア 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 キ 腫瘍	宇都宮 忠彦
2017/09/12（火） 1時限 08:40～09:30	良性腫瘍の診断と治療	【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 腫瘍の分類ができる。 2. 腫瘍について説明できる。 3. 腫瘍の診断ができる。 4. 腫瘍の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：腫瘍の分類・診断・治療法 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施無し 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 11 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ア 歯原生良性腫瘍 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 11 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ウ 非歯源性良性腫瘍 オ 骨関連病変 カ 骨増生 ＜骨隆起＞ キ 線維骨性病変 ク 巨細胞性病変 ケ L a n g e r h a n s 細胞組織球症 a 顎骨腫瘍の外科療法	濱野 美緒
2017/09/13（水） 1時限 08:40～09:30	悪性腫瘍の診断と治療①	【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようになるために知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 悪性腫瘍の分類ができる。 2. 悪性腫瘍について説明できる。 3. 悪性腫瘍の診断ができる。 4. 悪性腫瘍の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目：指定教科書にて悪性腫瘍の分類・診断・治療法について熟読する 準備学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】	山本 泰

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/13 (水) 1時限 08:40～09:30	悪性腫瘍の診断と治療①	4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 エ 舌癌 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ウ 口唇癌 オ 頬粘膜癌 カ 口蓋癌 キ 上顎・下顎歯肉癌 ク 口底癌 ケ 上顎洞癌 コ 軟組織の肉腫 a 外科療法 b 化学療法 c 放射線療法	山本 泰
2017/09/14 (木) 1時限 08:40～09:30	悪性腫瘍の診断と治療②	【授業の一般目標】 顎口腔領域に発生する悪性腫瘍の分類、特徴および治療について説明できるようにするために知識を習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 悪性腫瘍の分類が説明できる。 2. 悪性腫瘍について説明できる。 3. 悪性腫瘍の診断ができる。 4. 悪性腫瘍の治療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:指定教科書にて悪性腫瘍の分類・診断・治療法について熟読する 準備学修時間:30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実施なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 エ 舌癌 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ウ 口唇癌 オ 頬粘膜癌 カ 口蓋癌 キ 上顎・下顎歯肉癌 ク 口底癌 ケ 上顎洞癌 コ 軟組織の肉腫 a 外科療法 b 化学療法 c 放射線療法	山本 泰
2017/09/16 (土) 1時限 08:40～09:30	顔面の神経疾患	【授業の一般目標】 片側顔面痙攣、三叉神経痛の診断と治療を学修する 【行動目標（SBOs）】 1. 片側顔面痙攣を説明できる 2. 三叉神経痛を説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 脳神経の解剖、30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 3 神経疾患 ア 三叉神経痛 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論	牧山 康秀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/09/16（土） 1時限 08:40～09:30	顔面の神経疾患	各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 3 神経疾患 サ 顔面けいれん	牧山 康秀
2017/09/19（火） 1時限 08:40～09:40	平常試験⑦	【準備学修項目と準備学修時間】 準備学修項目:腫瘍・嚢胞の分類・診断・治療法 準備学修時間:試験に必要な時間 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室	山本 泰

保健医療総論と健康管理

年次	学期	学修ユニット責任者
5年次	前学期	有川 量崇（公衆予防歯科学）

学修ユニット 学修目標 (G I O)	
担当教員	有川 量崇
評価方法 (E V)	

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/17（月） 1時限 08:40～09:30	医の倫理	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な医の倫理、自己決定権、患者の権利と義務を学び、医療人として社会における役割と責任について理解し、修得できる。 【行動目標（SBOs）】 1. ニュルンベルグ綱領、ヘルシンキ宣言を説明できる。 2. ジュネーブ宣言、リスボン宣言、ヒポクラテスの誓いを説明できる。 3. インフォームドコンセント、セカンドオピニオンを説明できる。 4. 患者の権利と義務、自己決定権を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 医の倫理、患者の権利に関する声明を30分程度予習してくる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無・教科書、資料 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 b ニュルンベルグ綱領、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言、リスボン宣言、ヒポクラテスの誓い イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン b 患者の権利と義務 c 自己決定権 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-2 医の倫理 *①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 *②医の倫理に関する規範・国際規範（ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言等）を概説できる。	有川 量崇
2017/04/20（木） 1時限 08:40～09:30	医療安全対策	【授業の一般目標】 安全な歯科医療を提供するために、医療安全対策に必要な知識を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 医療における安全管理とそれを実現するための対策について説明できる。 2. インシデント・アクシデントについて説明できる。 3. ヒューマンエラーについて説明できる。 4. 医療事故と医療過誤、それらにおける歯科医師の責務について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 準備学習項目：医療安全対策 準備学習時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因	小宮 正道 山口 秀紀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/20 (木) 1時限 08:40～09:30	医療安全対策	【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 c 患者の安全管理（誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護） d 医療者の安全管理（感染、針刺し事故、外傷、被曝、目の保護） f ヒヤリハット、アクシデント、インシデント、医療事故報告書、インシデントレポート 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-1) 安全性の確保 *①歯科医療における事故の特異性を説明できる。 *③医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。 F 臨床実習 F-4 医療安全・感染予防 ※（臨床実習の各項目に共通） ①医療安全対策を実践できる。 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-1) 安全性の確保 *①歯科医療における事故の特異性を説明できる。 A-5-2) 医療上の事故等への対処と予防 *③医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤等を含む）が発生した時の緊急処置や記録、報告について説明できる。 F 臨床実習 F-4 医療安全・感染予防 ※（臨床実習の各項目に共通） ①医療安全対策を実践できる。	小宮 正道 山口 秀紀
2017/04/21 (金) 1時限 08:40～09:30	院内感染対策	【授業の一般目標】 安全な歯科医療を行うために、感染予防対策に関する必要な知識を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 1. 医療安全管理について説明できる。 2. 2. インシデント・アクシデントについて説明できる。 3. 3. 救急時の対応について説明できる。 4. 4. 誤飲・誤嚥発生時の対応について説明できる。 5. 5. 感染について説明できる。 6. 6. 感染対策について説明できる。 7. 7. 標準予防策と経路別予防策について説明できる。 8. 8. 手指衛生の方法について説明できる。 9. 9. PPE（個人防護用具）について説明できる。 10. 10. スポルディング分類について説明できる。 【準備学習項目と準備学習時間】 準備学習項目：医療安全対策 準備学習時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 日本大学松戸歯学部付属院医療安全・院内感染対策ポケットマニュアル 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 イ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 c 患者の安全管理（誤飲、誤嚥、誤薬、出血、外傷、感染、被曝、目の保護） d 医療者の安全管理（感染、針刺し事故、外傷、被曝、目の保護） f ヒヤリハット、アクシデント、インシデント、医療事故報告書、インシデントレポート ウ 院内感染対策 a スタンダードプレコーション＜標準予防策＞ 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-5 歯科医療における安全性への配慮と危機管理 A-5-1) 安全性の確保 *①歯科医療における事故の特異性を説明できる。 *③医療上の事故等を防止するには、個人の注意力はもとより組織的なリスク管理が重要であることを説明できる。 A-5-2) 医療上の事故等への対処と予防 *③医療上の事故等（インシデント（ヒヤリハット）、医療過誤等を含む）が発生した時の緊急処置や記録、報告について説明できる。 A-5-3) 医療従事者の健康と安全 *②標準予防策の必要性を説明できる。 F 臨床実習 F-4 医療安全・感染予防 ※（臨床実習の各項目に共通） ①医療安全対策を実践できる。 ②標準予防策を実践できる。 ③院内感染に対する対応ができる。 ④清潔に配慮した操作ができる。	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/04/21 (金) 1時限 08:40～09:30	院内感染対策		笹井 啓史
2017/05/01 (月) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進（健康増進と疾病予防）	【授業の一般目標】 健康の概念と健康増進、疾病予防、健康管理について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 健康の概念について説明できる。 2. プライマリーヘルスケアについて説明できる。 3. ヘルスプロモーションについて説明できる。 4. 地域保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：健康・疾病・予防における概念の学修 ・準備学修時間：60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 b プライマリーヘルスケア、アルマ・アタ宣言 c ヘルスプロモーション、オタワ憲章 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 1 健康の保持・増進と予防 ク 歯科口腔保健の推進に関する法律	田口 千恵子
2017/05/09 (火) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進（母子保健と学校保健）	【授業の一般目標】 健康管理増進における母子保健、学校保健について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 母子保健について説明できる。 2. 母子保健法について概説できる。 3. 母子歯科保健について説明できる。 4. 学校保健について説明できる。 5. 学校保健安全法について説明できる。 6. 学校歯科保健について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：母子保健、学校保健において行われる事項の学修 ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学習媒体：教科書/PC/資料配布 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 母子保健 a 歯科健康診査（妊産婦、1歳6か月児、3歳児） 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 母子保健 a 歯科健康診査（妊産婦、1歳6か月児、3歳児） b 妊産婦・乳幼児の保健指導 エ 学校保健 a 保健教育・保健管理の概要	田口 千恵子
2017/05/16 (火) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進（成人保健・健康日本21）	【授業の一般目標】 健康管理増進のための成人保健、健康政策について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 第二次健康日本21について概説できる。 2. メタボリックシンドロームについて説明できる。 3. 禁煙指導について説明できる。 4. 生活習慣病について説明できる。	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/05/16 (火) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進 (成人保健・健康日本21)	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：健康増進日本21の概略の復習 ・準備学修時間： 45 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 b 健康増進事業、歯周疾患検診 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 a 特定健康診査・特定保健指導 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 エ 生活習慣指導 オ 禁煙指導・支援 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 5 成人保健、成人歯科保健 ア 現状、動向 ウ 成人歯科保健 エ 成人の口腔保健管理	田口 千恵子
2017/06/07 (水) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進 (フッ化物応用)	【授業の一般目標】 口腔疾患の予防におけるフッ化物応用について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. フッ化物応用による全身的应用法について説明できる。 2. フッ化物による局所的应用法について説明できる。 3. フッ化物応用による安全性について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：フッ化物の各種応用方法の復習 ・準備学修時間： 45 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 a 全身的应用 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 b 局所的应用 c 安全性 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 キ フッ化物の応用法	田口 千恵子
2017/06/08 (木) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進 (保健指導・口腔清掃)	【授業の一般目標】 口腔疾患の予防と管理における口腔清掃と保健指導について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 栄養と食生活について説明できる。 2. 機械的の清掃法・化学的の清掃法について説明できる。 3. 口腔清掃方法について説明できる。 4. 口腔の沈着物について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口腔清掃方法の違いと特徴について理解する。 ・準備学修時間： 45 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：一部実習 学修媒体：教科書/PC/資料配布	田口 千恵子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/08 (木) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進（保健指導・口腔清掃）	【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ク 保健指導 a 栄養と食生活 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ケ 口腔清掃 a 機械的・化学的ブラーク＜口腔バイオフィルム＞コントロール b ブラーク形成機序・付着抑制 c 口腔清掃行動	田口 千恵子
2017/06/09 (金) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進（口臭）	【授業の一般目標】 健康管理増進のために歯・口腔の清潔、特に口臭について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 口臭の分類を説明できる。 2. 口臭の原因を説明できる。 3. 口臭の測定方法について説明できる。 4. 口臭の予防について説明できる。 5. 器質的・機能的口腔ケアについて説明できる。 6. 口腔疾患の疫学的指標を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：口臭全般の学修 ・準備学修時間： 45 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 学修媒体：教科書/PC/資料配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 コ 口腔のケア a 口腔衛生管理のための口腔ケア 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 コ 口腔のケア b 口腔機能維持向上のための口腔のケア 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 4 口臭の予防・管理 ア 口臭の原因 イ 口臭の診断 ウ 口臭の予防・治療 6 保健指導 カ ライフステージと口腔機能育成・増進指導	田口 千恵子
2017/06/12 (月) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進（産業保健・国際保健）	【授業の一般目標】 産業保健と国際保健における口腔疾患の予防と管理・保健指導について理解する。 【行動目標（S B O s）】 1. 産業歯科保健について説明できる。 2. 国際保健における歯科の役割を説明できる。 3. 国際機関を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 産業保健と国際保健関連の項目を30分程度学修すること。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無・教科書、資料 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 4 0 1 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 7 国際保健 イ 国際保健・医療協力 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論	有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/06/12 (月) 1時限 08:40～09:30	予防と健康管理増進（産業保健・国際保健）	7 国際保健 ア 世界の保健・医療の問題と方向性 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 4 産業保健、産業歯科保健 カ 産業歯科保健活動 キ 職業性歯科疾患 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。	有川 量崇
2017/07/04 (火) 1時限 08:40～09:30	保健・医療・福祉・介護関係法規①	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 1. 社会保障の定義と制度体系について説明できる。 2. 2. 保健、医療、福祉（介護を含む）の各制度について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：社会保障制度 ・準備学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 オ 社会生活 b 社会保障制度（所得、介護、障害） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 ク 保健・医療・福祉・介護の制度と連携 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑥障害者のおかれた社会環境を説明できる。 *⑦ノーマライゼーションの考え方を説明できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。	笹井 啓史
2017/07/05 (水) 1時限 08:40～09:30	保健・医療・福祉・介護関係法規②	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 1. 歯科医師法等歯科医師の法的義務について説明できる。 2. 2. 医療関係職種の各身分に関する関係法規について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：歯科医師法他医療関係職種各身分法 ・準備学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 a 歯科医師法 【国家試験出題基準（副）】	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/07/05 (水) 1時限 08:40～09:30	保健・医療・福祉・ 介護関係法規②	必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 b 歯科衛生士法 c 歯科技工士法 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 g 地域歯科保健活動での各職種の連携に関する制度 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-1) 歯科医師法・関係法規 *①歯科医師法を概説できる。 *③歯科衛生士法と歯科技工士法を概説できる。 *④医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説できる。	笹井 啓史
2017/08/23 (水) 1時限 08:40～09:30	保健・医療・福祉・ 介護関係法規③	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 1. 医療法に基づく医療提供体制等について説明できる 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療法 ・準備学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401 教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 e 医療法 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク a 病診連携 b 診診連携 c 保健・医療・福祉・介護・教育の連携 e 地域連携クリニカルパス 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 2 保健・医療・福祉・介護関係法規 ウ 医療保障・社会福祉・介護保険関連法規 3 保健・医療・福祉・介護の仕組みと資源 イ 医療機関 ク 保健・医療・福祉・介護の制度と連携 4 地域保健、地域医療 イ 医療計画、健康増進計画	笹井 啓史
2017/08/24 (木) 1時限 08:40～09:30	保健・医療・福祉・ 介護関係法規④	【授業の一般目標】 歯科医師として必要な法と制度を学び、社会において医療従事者としての役割と責任について理解し修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 1. 医療保険制度と国家財政の仕組みについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療保険制度、医療経済 ・準備学修時間：180分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 401 教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 6 社会保障と医療経済 イ 医療保険、介護保険 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ウ 医療経済と国民医療費 必修の基本的事項	笹井 啓史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2017/08/24（木） 1時限 08:40～09:30	保健・医療・福祉・ 介護関係法規④	2 社会と歯科医療 イ 歯科医療の社会的背景 a 健康意識、疾病構造 b 国民医療費 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済（国民医療費）を含む。】 *③介護保険制度を説明できる。 *④社会福祉制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。	笹井 啓史